



◆◆◆ 鉾都・神岡回廊構想 ◆◆◆

～「(仮称) 鉾都・ひだ神岡ミュージアム」の整備による地域・教育・観光振興の推進～

岐阜県・飛騨市
企業版ふるさと納税制度



▶ 鉾都・神岡回廊構想

かつて東洋一の鉾山として隆盛を誇り歴史を刻んできた神岡町ですが、1994年の急激な円高による世界景気の低迷や、2001年の休坑に伴い、町全体も過疎化が進行しました。

一方で、鉾山の発展と歴史に関連した様々な事業や施設も誕生し、住民の誇りやよりどころになるとともに、現在は、宇宙物理学研究への支援など新しい時代を迎えています。

既に取り組んでいるカミオカラボや地下宇宙物理学研究を推進する「先端科学都市構想」、旧神岡鉄道廃線後の利活用「ロストラインパーク構想」があり、これらを絡め、今回、課題となっている「鉾山資料館」をリニューアルするとともに、同館を拠点とした「**鉾都・神岡回廊構想**」を推進します。

現在の「鉾山資料館」の課題

- ・説明不足でわかりづらい
- ・神岡の歴史や文化の紹介がない
- ・築老朽化 など



▶ 鉾山資料館のリニューアル 名称も(仮称)「鉾都・ひだ神岡ミュージアム」に変更



2階
「資料館」機能



1階
「神岡回廊の拠点」機能

コンセプト

- ①ファミリー層が気軽に訪れて楽しむ
開かれた交流スペースと資料館スペースを活用した人づくり
- ②遊びながら学ぶ
体験型の展示手法を取り入れ、楽しさや学びに繋げる
- ③わかりやすく伝える
身近にある鉾石をきっかけにした展示ストーリーで展示を充実
- ④将来世代に繋ぐ
世代間交流を促進したり、施設づくりに関わることで、ファン・リピーターを増やす

リニューアルにかかる本体工事、付帯工事、詳細設計

概算総事業費 4.4億円

内、企業版ふるさと納税目標額

2.3億円



企業さまへ

神岡町と言えば「鉾山のまち」。その歴史と文化を後世に繋げ、市民の誇りとなる「鉾都・神岡回廊構想推進事業」について、ぜひご理解と温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。